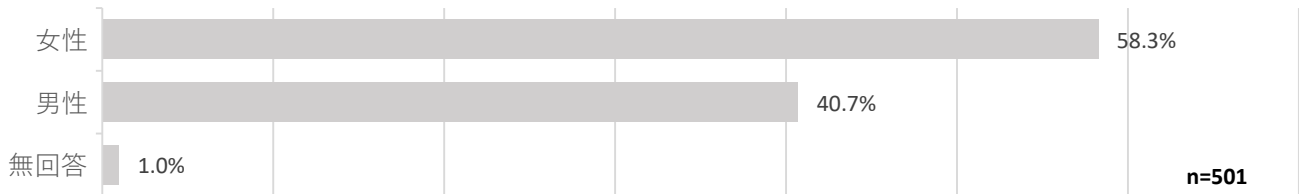


日本人住民向けアンケート
調査結果

1. ご自身について

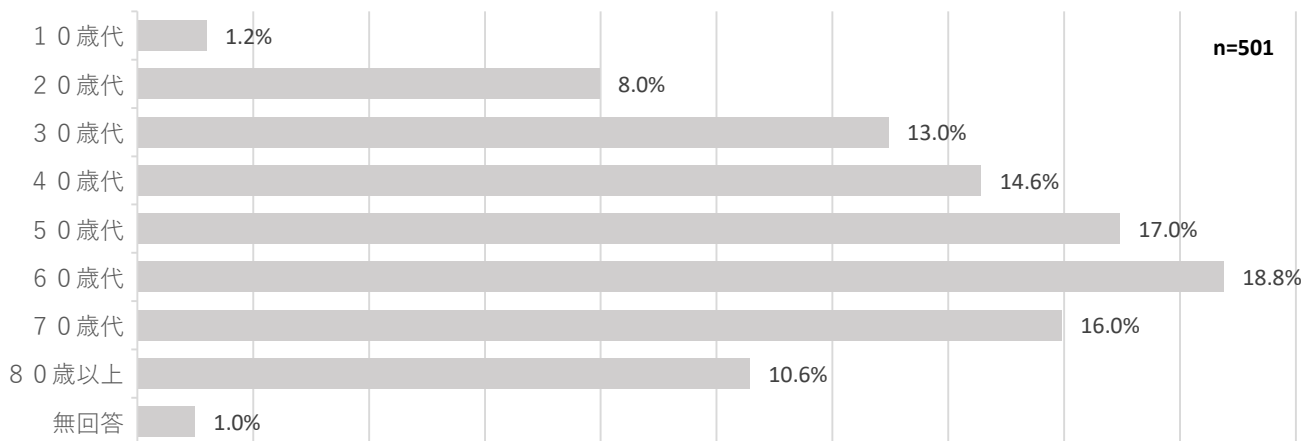
Q1 性別について (○はひとつだけ)

「女性」が58.3%、「男性」が40.7%だった。



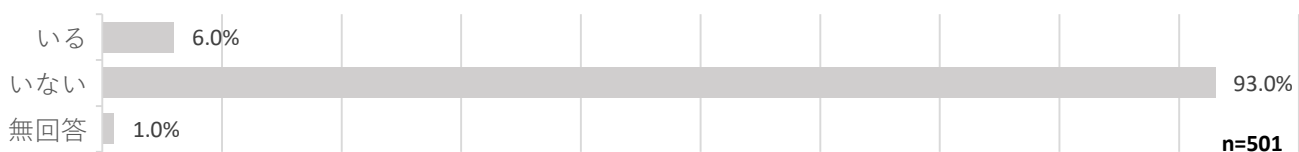
Q2 年齢について (○は1つだけ)

「60歳代」からの回答が18.8%と最も多く、次いで「50歳代」が17.0%、「70歳代」が16.0%、「40歳代」が14.6%、「30歳代」が13.0%、「80歳代以上」が10.6%だった。



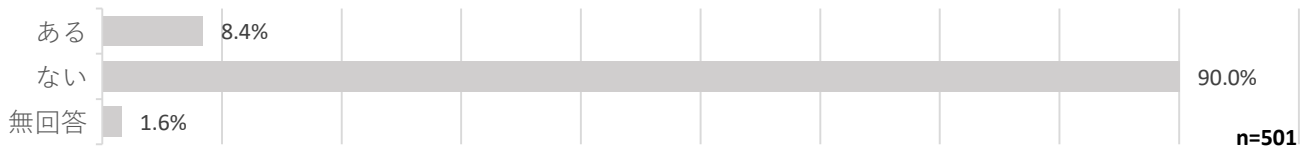
Q3 親類に外国籍の方や外国にルーツを持つ方はいますか (○は1つだけ)

「いない」が93.0%、「いる」が6.0%、「無回答」は1.0%だった。なお「いる」を選択した人の親類の属性は「いそこ」が5件 (1.0%) で最も多かった。



Q4 海外での生活経験（3か月以上）について（○は1つだけ）

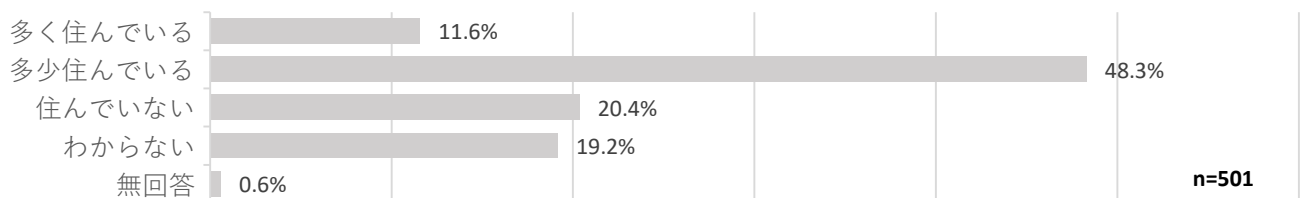
「ない」を選択したのが90.0%で「ある」は8.4%、「無回答」は1.6%だった。



2. 日常生活について

Q5 近隣に外国籍住民は住んでいますか（○は1つだけ）

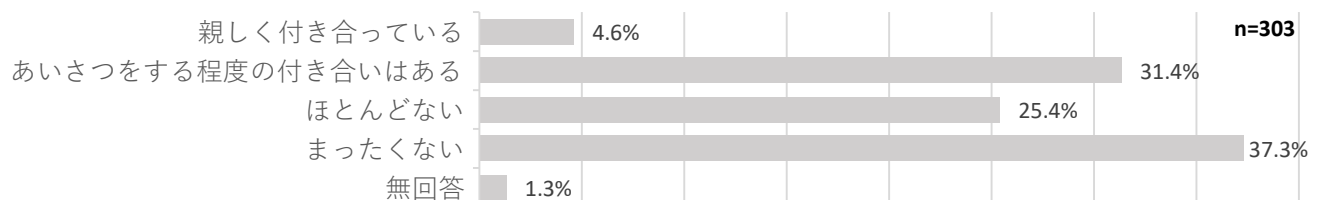
「多少住んでいる」が48.3%、「住んでいない」が20.4%、「わからない」が19.2%、「多く住んでいる」が11.6%だった。



Q6～Q7は、Q5で「多く住んでいる」又は「多少住んでいる」と回答した人にうかがいました。

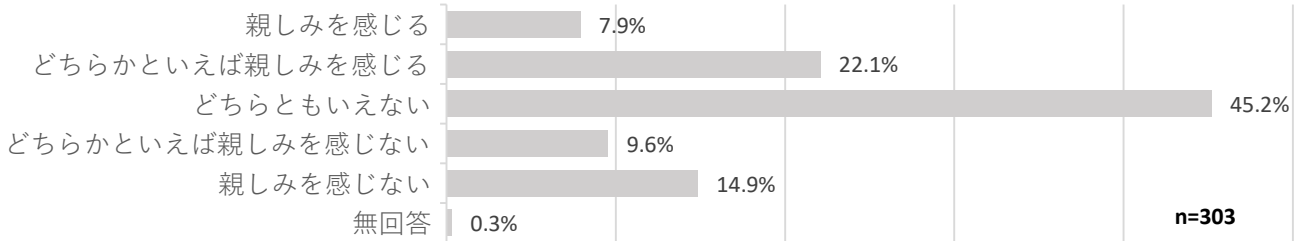
Q6 近隣の外国籍住民との付き合いについて（○は1つだけ）

「まったくない」が最も多く37.3%、次いで「あいさつをする程度の付き合いはある」が31.4%、「ほとんどない」が25.4%で、「親しく付き合っている」が4.6%だった。



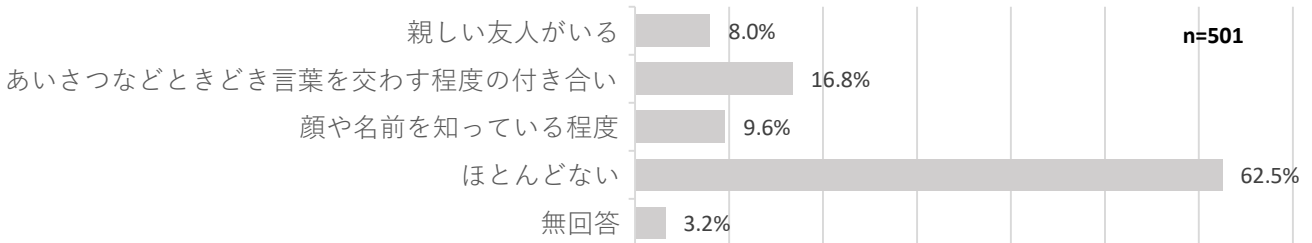
Q7 近隣の外国籍住民をどのように感じていますか (○は1つだけ)

「どちらともいえない」が45.2%と多く、「どちらかといえば親しみをを感じる」が22.1%で続く、次いで「親しみを感ぜない」が14.9%で、「どちらかといえば親しみを感ぜない」が9.6%、「親しみを感ぜる」が7.9%、「無回答」が0.3%だった。



Q8 近隣以外の外国籍住民との付き合いについて (○は1つだけ)

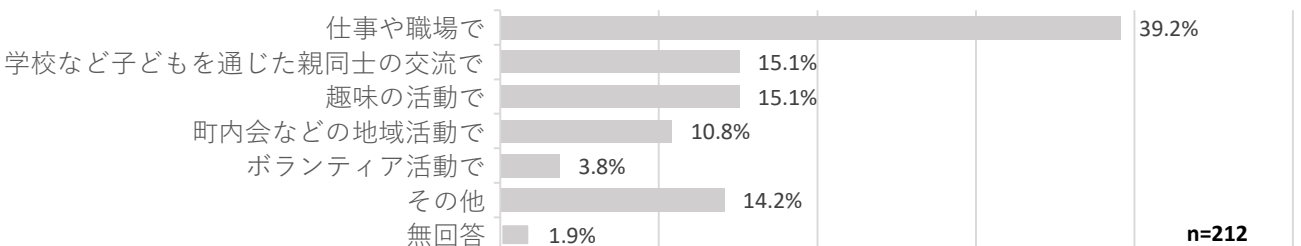
62.5%が「ほとんどない」を選択した。「あいさつなど時々言葉を交わす程度の付き合い」が16.8%で、「顔や名前を知っている程度」が9.6%、「親しい友人がいる」は8.0%だった。



Q9はQ8で「親しい友人がいる」、「あいさつなど時々言葉を交わす程度の付き合い」、「顔や名前を知っている程度」を選択された人にうかがいました

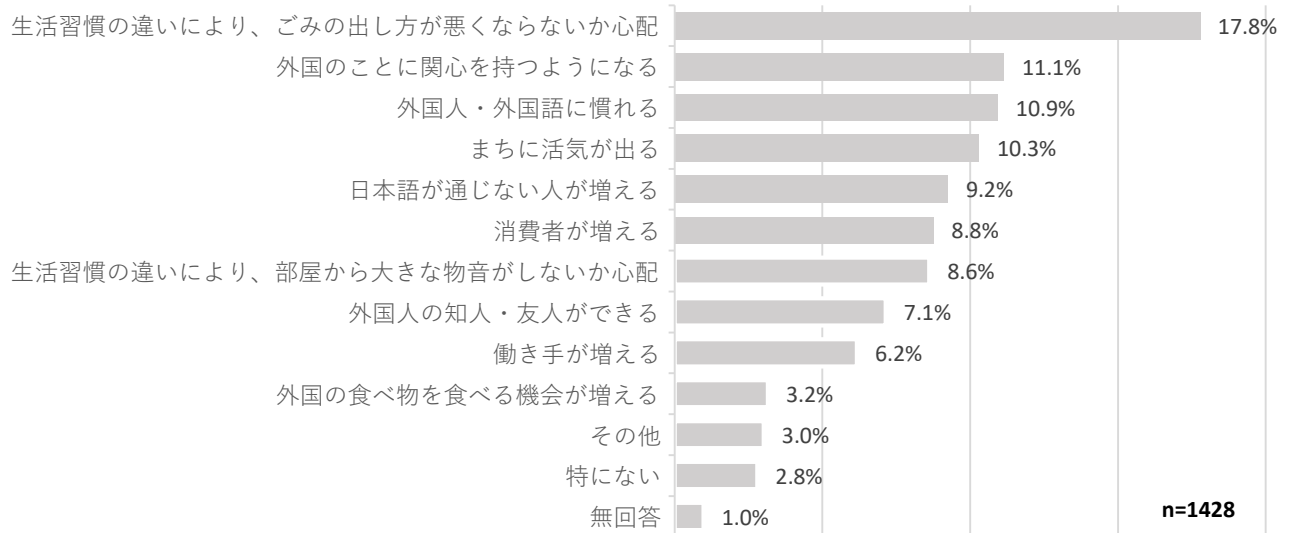
Q9 どのようなところでつきあいがありますか (○いくつでも)

39.2%が「仕事や職場で」を選択した。「趣味の活動で」と「子供を通じた親同士の交流で」はともに15.1%、「町内会などの地域活動で」が10.8%、「ボランティア活動で」が3.8%だった。なお、「その他」は14.2%だった。



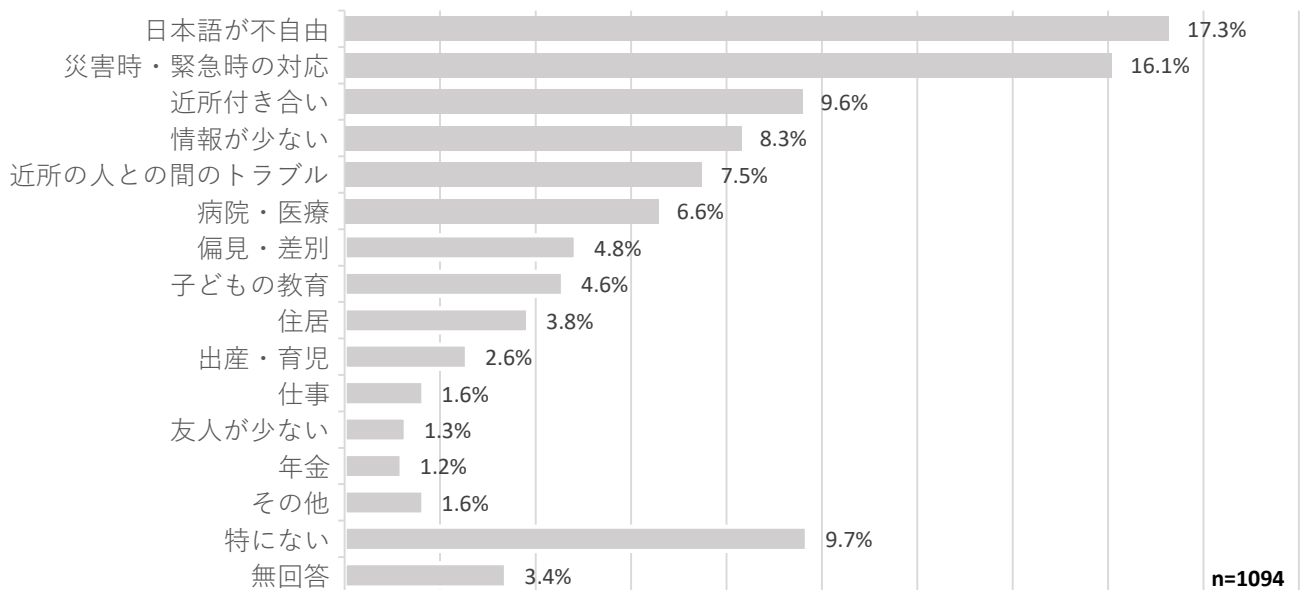
Q10 近隣に外国人が増えることについて、どのようなことを感じますか（〇はいくつでも）

17.8%が「生活習慣の違いによりゴミの出し方が悪くならないか心配」を選択した。「外国のことに関心を持つようになる」が11.1%、「外国人・外国語に慣れる」が10.9%、「まちに活気が出る」が10.3%だった。



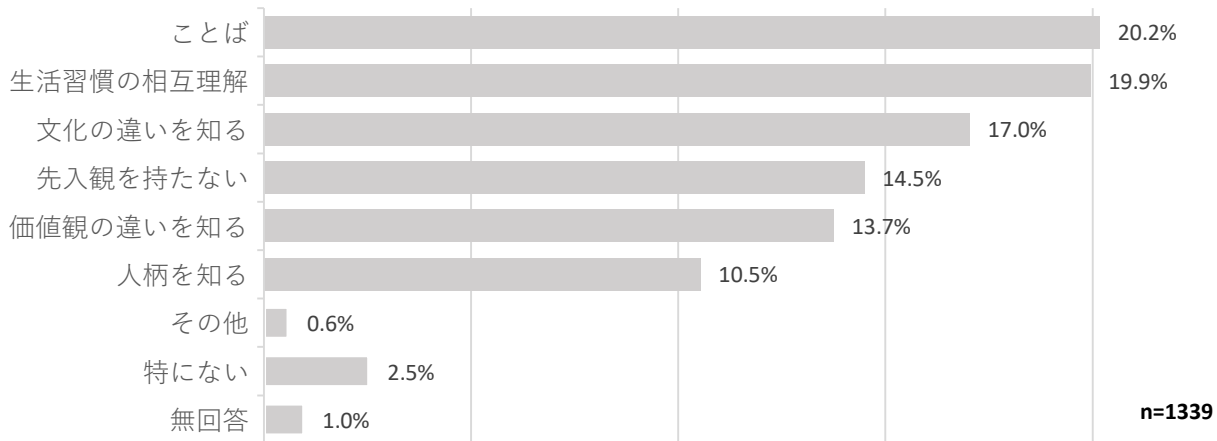
Q11 外国人にとっての、生活での困りごとや不満は何だと思いますか（〇はいくつでも）

「日本語が不自由」が17.3%と最も多く、「災害時・緊急時の対応」が16.1%、「近所付き合い」が9.6%、「情報が少ない」が8.3%、「近所の人とのトラブル」が7.5%、「病院・医療」が6.6%だった。「特にない」は9.7%だった。



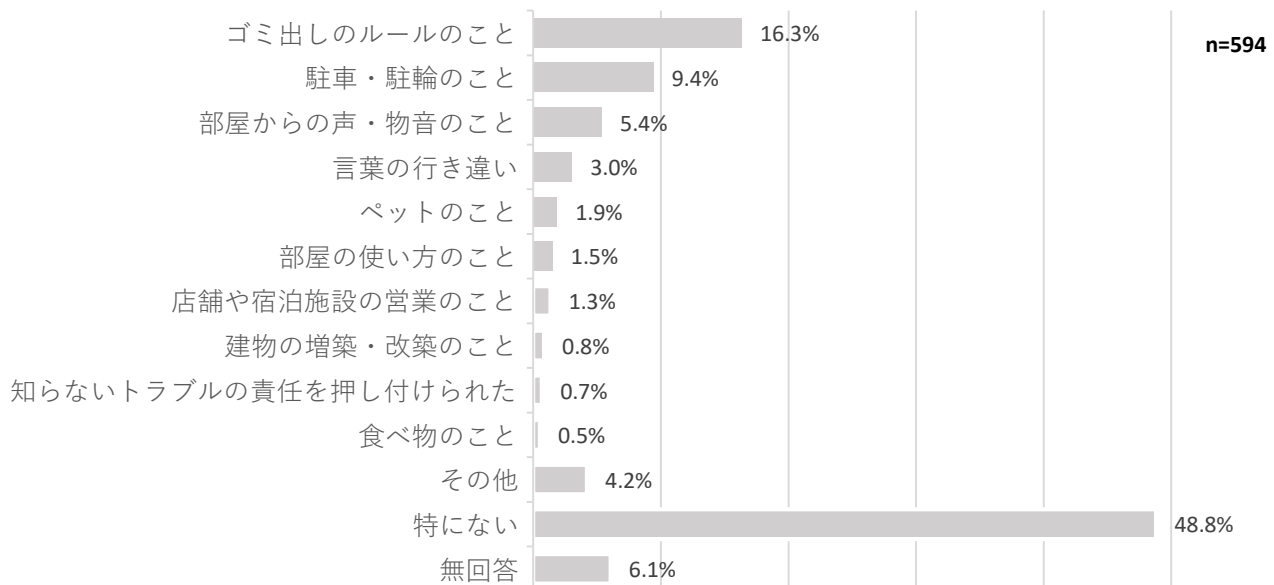
Q12 同じ地域で外国人と生活していく上で大切なことについて（○はいくつでも）

20.2%で「ことば」が最も多く、19.9%で「生活習慣の相互理解」が続いた。以下、「文化の違いを知る」が17.0%、「先入観を持たない」が14.5%、「価値観の違いを知る」が13.7%、「人柄を知る」が10.5%だった。



Q13 外国人が関連した、近所でのトラブルの経験について（○はいくつでも）

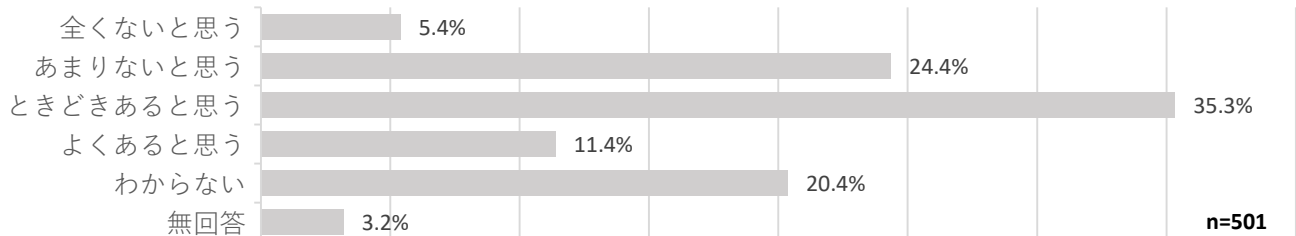
「特にない」を選択した割合が48.8%と最も多かったものの、トラブル経験の内容については「ゴミ出しのルールのこと」が16.3%と最も多く、次いで「駐車・駐輪のこと」が9.4%、「部屋からの声・物音のこと」が5.4%、「言葉の行き違い」が3.0%であった。なお、「その他」は4.2%だった。



3. 偏見・差別について

Q14 日本人から外国人に対する偏見や差別について（○はひとつだけ）

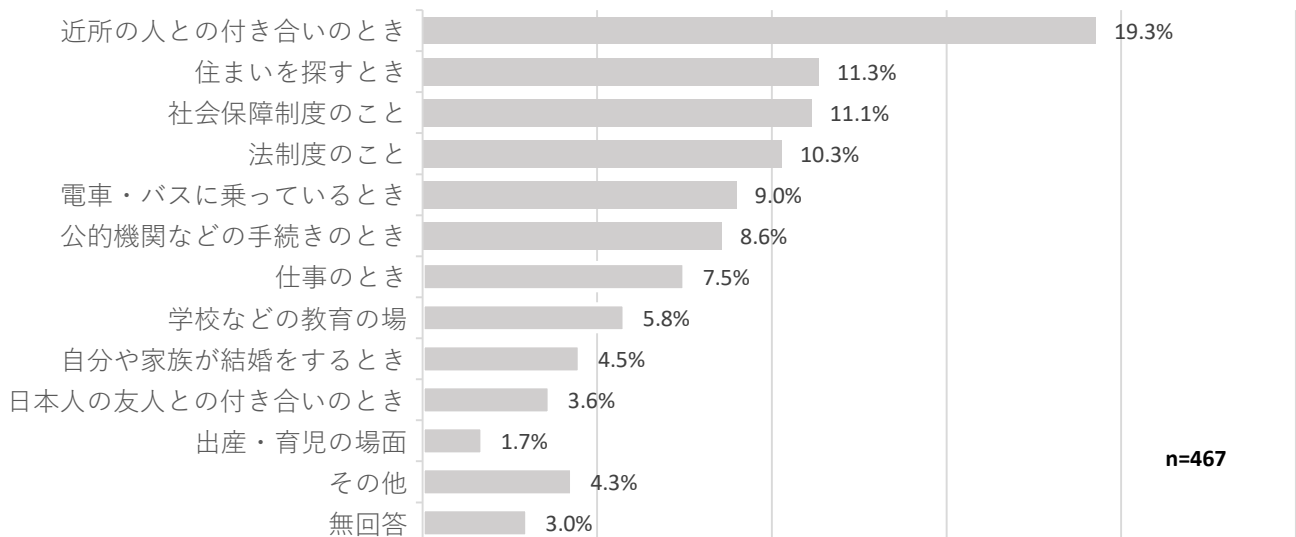
「ときどきあると思う」が35.3%と最も多かった。「あまりないと思う」が24.4%、「わからない」が20.4%、「よくあると思う」が11.4%、「全くないと思う」が5.4%だった。



Q15～16は、Q14で「ときどきあると思う」「よくあると思う」を選択した方にうかがいました。

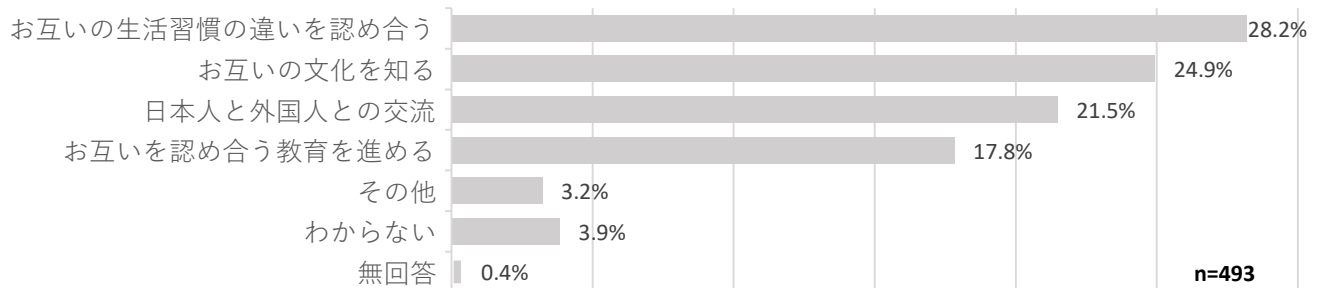
Q15 偏見や差別を感じる場面について（○はいくつでも）

「近所の人との付き合いのとき」を選択した割合が最も多く19.3%だった。次いで「住まいを探すとき」が11.3%、「社会保障制度のこと」が11.1%、「法制度のこと」が10.3%、「電車・バスに乗っているとき」が9.0%、「公的機関等の手続きのとき」が8.6%だった。



Q16 偏見・差別をなくすために必要なことについて（○はいくつでも）

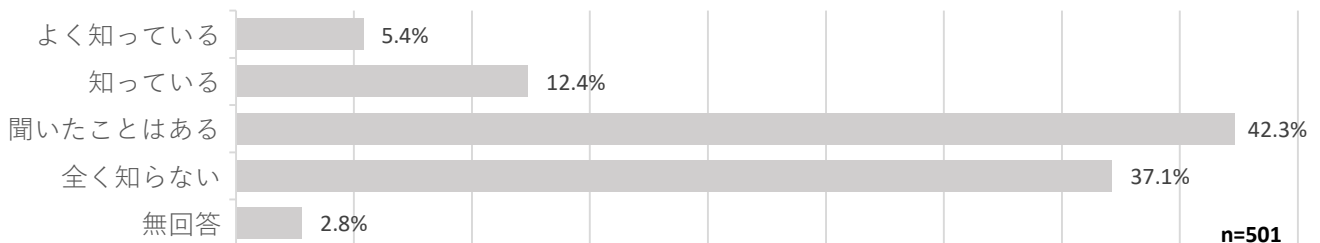
「お互いの生活習慣の違いを認め合う」を選択した割合が最も多く28.2%となった。「お互いの文化を知る」が24.9%、「日本人と外国人の交流」が21.5%、「お互いを認め合う教育を進める」が17.8%だった。「その他」は3.2%だった。



4. 多文化共生について

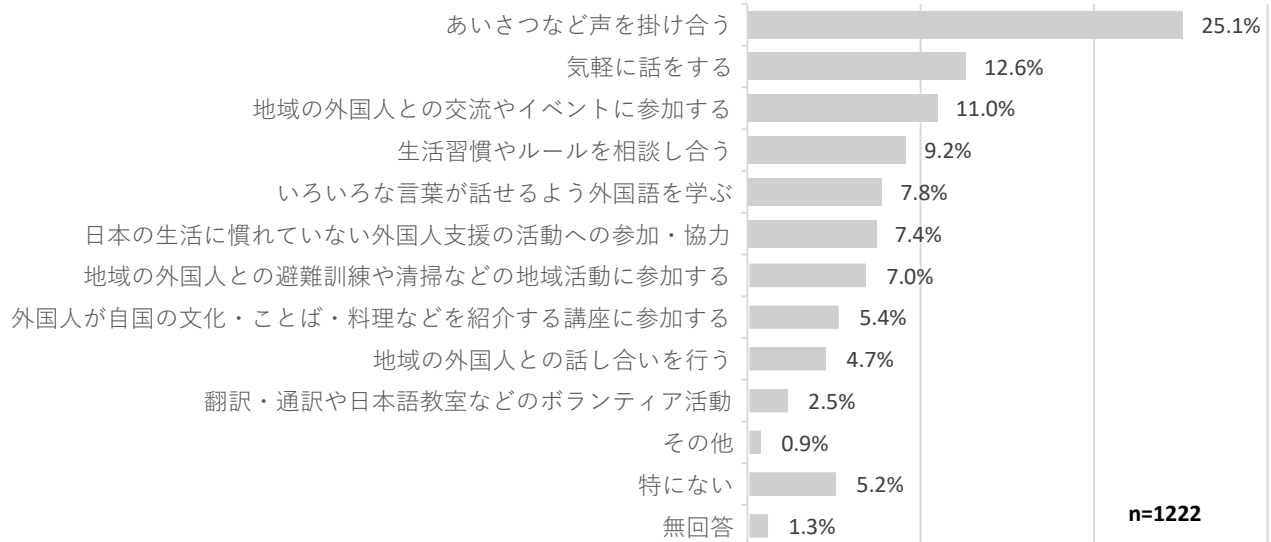
Q17 「多文化共生」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか（○はひとつだけ）

「聞いたことはある」を選択したのが最も多く42.3%だった。「全く知らない」が37.1%、「知っている」が12.4%、「よく知っている」が5.4%だった。



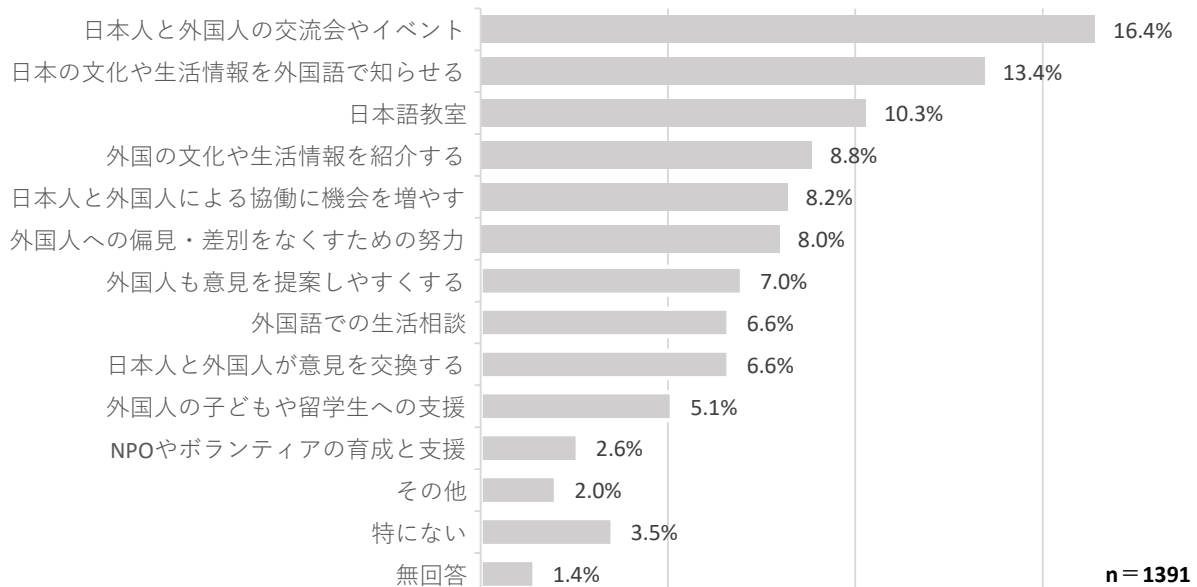
Q18 「多文化共生のまちづくり」を進めるために、できることについて（〇はいくつでも）

「あいさつなど声を掛け合う」が最も多く25.1%だった。次いで「気軽に話をする」が12.6%、「地域の外国人との交流やイベントに参加する」が11.0%、「生活習慣やルールを相談し合う」が9.2%、「いろいろな言葉が話せるよう外国語を学ぶ」が7.8%だった。



Q19 「多文化共生のまちづくり」を進めるために、今後の町の対応として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（〇はいくつでも）

「日本人と外国人の交流やイベント」を選択した割合が16.4%と最も多く、「日本の文化や生活習慣を外国語で知らせる」が13.4%、次いで「日本語教室」を選択したのが10.3%だった。



日本人住民向けアンケート
各設問における自由記載・意見等

Q9はQ8で「親しい友人がいる」、「あいさつなど時々言葉を交わす程度の付き合い」、「顔や名前を知っている程度」を選択された人にうかがいました

Q9 どのようなところでつきあいがありますか

- ・ 除雪等での相談及び指導
- ・ 本当のあいさつ程度
- ・ 妹の友人
- ・ 子育て支援センターなど
- ・ 飲食店
- ・ 子どもの英会話の先生と子ども
- ・ 子どもが英語を習った
- ・ 隣りに住んでいるので挨拶程度
- ・ 家族の趣味の活動を通じて
- ・ 自宅の近隣でたまに顔を合わせたとき
- ・ 知っているだけで付き合いはない
- ・ 普通の友人
- ・ 友人の娘が町内に住んでいるため時々遊びに行く程度
- ・ ストープのメンテナンスなどをしてもらっている業者さん
- ・ 留学先の友人
- ・ 大学
- ・ 娘との関係
- ・ スポーツ
- ・ 留学していたため
- ・ 商店
- ・ 近所付き合い
- ・ 古くからの友人
- ・ 友人の配偶者
- ・ 庭のことで話しかけたり、話したり

Q10 近隣に外国人が増えることについて、どのようなことを感じますか

- ・ 治安の悪化
- ・ 交通マナー（駐車が右側）
- ・ ごみのポイ捨て
- ・ マナーが悪い。ルールが守れない
- ・ 住宅周辺の除雪、ごみのポイ捨て
- ・ 犯罪が増える
- ・ 除雪の問題
- ・ マナーが悪い、家賃が高騰する

- ・多様な文化を知る機会、触れる機会が増え子どもにもいい影響があると感じる
- ・文化のちがい
- ・事件が起きないか心配
- ・除雪をきちんとしない人が多い。特に屋根の雪を気にしていないので危ない
- ・犯罪の増加。交通事故
- ・外国人向けにスーパーや外食などの物価が上昇する心配
- ・治安が不安
- ・ごみを投げ捨てながら食べ歩きしているのが心配。夜中に道を歩きながら花火をしているのが心配。車の荷台からわらわら出てきて駅前通りに消えて行っちゃうので心配。自分の土地ではない場所に勝手にセカンドハウス建てちゃってて心配。除雪しないで車庫のシャッターつぶしているのが心配
- ・住宅不足。冬の渋滞
- ・食べながら歩いているのが気になる
- ・犯罪等が増えないか心配
- ・治安悪化
- ・文化の違いに不安
- ・生活習慣の違いでイヤだと思える事が出て来るのではと思う
- ・夜の車がうるさい
- ・クレジットカードやインターネットの利用率が上がる。食事の作法など散らかす習慣のある方に困る。マナー表示をしたり観光の本などで日本でのマナーについてもっと注意深く記載してほしい
- ・交通ルールが多少違う為、危険な運転をする人達がいる
- ・除雪の問題
- ・治安の問題。犯罪が増えないか？トラブルとか？ゴミ出しのマナーは今までも悪い人があるので大きく変化しないのでは。外国人の人は気を付けているように思うむしろ悪いのは町民の中にいると思う
- ・話し合う機会がない
- ・多様化。グローバル化。良いことも悪いことも
- ・町内の規模拡張化につながるかもしれない（琴平・南6～11条近辺など）
- ・賃貸料のupが心配
- ・実際アパートに住んでいる時、騒音がすごかった

Q11 外国人にとっての、生活での困りごとや不満は何だと思えますか

- ・知らない
- ・wifi、クレジット可の店
- ・興味がない
- ・わからない

- ・ごみの分別などは日本人でも迷うので、もっと親切にしたほうが良い
- ・質問の意味が分からない
- ・日本なので不満は仕方ない
- ・ゴミの分別、犬のフン
- ・ゴミ問題
- ・不満はない。いろいろ話をしてみたいです
- ・わからない
- ・外国語が通じる日本人が少ない

Q12 同じ地域で外国人と生活していく上で大切なことについて

- ・あいさつ
- ・交流の機会をもつ
- ・気にしない
- ・関わらないこと
- ・日本で生活する以上日本のルールをしっかりと伝える。教えること
- ・外国人が日本人に対して気を遣って欲しい
- ・積極的に声をかける
- ・お互いの歩み寄り

Q13 外国人が関連した、近所でのトラブル経験について

- ・除雪しない。車の運転、無灯火走行
- ・除排雪
- ・除雪（公道は行政がきちんとしてほしい。歩道とかもです）
- ・においが気になる
- ・トラブルしかない。プラスのことがない
- ・家の前の道路を親の車（ノロノロ運転をして）が、子供（小学生）のボードをさせてついて行っている事、道路上でそのような事をするのは危険だと言ってやりたい。しかしかわりたくない
- ・前の職場で、向かい側の外国人が住んでいたところから、ロケット花火を飛ばしてこちらの玄関まで飛んできて、警察を呼んだことがある
- ・スーパーで横一列に並び、どけてくれない
- ・勝手に土足で家に入ってきた
- ・除雪の仕事。雪を甘く見すぎな人が多すぎ
- ・スタッフ寮であればだれが何人、どこの会社かわかるようにきちんと表札に決まったプレートを付けるルール作りを！日本人責任者名、電話番号も玄関前につけたほうが良い。ゴミもひどいのでトラブルの原因。できれば近くに住みたくない。不動産、管理会社も集まって把握して徹底すること

- ・畑（私有地）への駐車
- ・冬場にシェアハウスとして一軒家を使うこともあり、除雪等の説明に困ったことがある
- ・部屋（男性）につれこまれて警察をよんだ
- ・除雪のマナー悪い
- ・除雪、雪の始末
- ・雪捨て、除雪について
- ・外国人経営の飲食店の騒音

Q15～16は、Q14で「ときどきあると思う」「よくあると思う」を選択した方にうかがいました。

Q15 偏見や差別を感じる場面について

- ・国籍により偏見があると感じる
- ・住居を外国人に売らないようにしている。
不法就労問題は、せっかく働きたい人がいるのに国の法整備の対応が追いついていない。社会保障をしっかりとしているのか不安
- ・文化の違い
- ・国籍による
- ・アルコールを飲んで大声で話をしている。
- ・何でも外国人の責任にする。ゴミ出しルールについても近隣の外国人はしっかりルール守っているのに一部の日本人は外国人の責任にしている
- ・日本人ではないのだから同じには見れない
- ・世代によってあると感じる
- ・先入観
- ・飲食店や買い物の場でのマナー等
- ・町内のアパートを探す際、借主が外国人だと断られる
- ・スーパーで広がって歩いたり、大きな声で話す外国人に対して
- ・外国人に対するイメージ
- ・陰口
- ・国籍によって日本人の態度が違う

Q16 偏見・差別をなくすために、必要なことについて

- ・日本は観光客は歓迎していますが、暮らすには難しい問題がたくさんあると思います。住む外国人一人一人に身内の様に目をかけて欲しいと思います。
そうでなければ、訪れる観光客も減ると思います
- ・意思の疎通が図れる会話、英語
- ・考えすぎない。フレンドリーにする。

- ・外国人側が日本の文化やマナーを理解しようとする姿勢が必要だと思う
- ・国のルールに沿ってもらう
- ・関わらない
- ・外国籍の子どもに義務教育を保証する
- ・言葉
- ・仕方ないとあきらめる
- ・日本人も海外に出て、自分も外国人であることを体験する。
- ・ない
- ・言葉の理解
- ・外国の人に日本のルールを知ってもらう。日本に来ているのだから、自国の習慣やルールを当たり前のようにされても歩み寄れない。日本での習慣を知ったうえで守っていくのが難しいなら支援したい
- ・外国人に常識があれば特に偏見差別はない
- ・相手を理解しようとする

Q18 「多文化共生のまちづくり」を進めるために、できることについて

- ・まちづくりについては自分がやるべきとは思っていないので、今は何かをしようとは思っていない
- ・日本人と外国人の子どもたちの交流
- ・関わらない
- ・日本に住むなら日本語を話してほしい
- ・わからない
- ・町内会に参加してもらう
- ・カトリック教会なのでたくさんの人々が来ます。その中での交流が多い。
- ・残念な事に近くに外国人がいません。いたなら、行動は違ってくると思います
- ・外国人に日本語を教える
- ・ゴミ出しルールの説明、大声で話しながら夜に歩くのはよろしくない事を伝えるなど日本のマナーをおしえる
- ・町内会活動に参加・協力してもらう（花植え、ごみ拾いとく）
- ・無理に進めることはない

Q19 「多文化共生のまちづくり」を進めるために、今後の町の対応として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか

- ・町内会への加入呼びかけ
- ・ホームステイを経験させる
- ・日本で暮らすうえで必要となる情報を掲載したパンフレットを配布する

- ・これ以上外国人を増やさないでほしい。昔より治安が悪くなっている。外国人のことばかりではなく地元民が住みやすい環境づくりに力を入れて欲しい
- ・倶知安町民がもっと外国に行ったり留学生の交流をもっと活性化したほうが良いです。町費で費用出してください。スポーツ留学でもいいと思います。
60歳を過ぎてボランティアをしたい人もいますが、倶知安ではどんなボランティアができるか知りたいですが、何か活動しているのでしょうか？もっと広報をして募集とかしてください
- ・まず町民が困っていることに耳を傾けるべきでは？外国人ウェルカムで迷惑を受けているのは町民です。日本のマナーを徹底してほしい！ゴミ！！！！どうにかして。夜中の大声！！！！ありえない
- ・英会話教室
- ・よくわからない
- ・外国語の勉強をする講座等
- ・日本語で日本料理（北海道料理）教室
- ・住んでいる外国人との共生と、新しく来る外国人が来れるように住みやすくする対応は分けるべきと思う。前者は多文化共生だが、後者も含めてしまうと日本人の住民が求めているのか疑問に感じる。まずは文化の違いで日本に溶け込んでもらうことが大事と思う
- ・町の最低限のルールを教える
- ・多文化共生を進めないでほしい
- ・必要ない
- ・外国人選挙権を認める。外国籍の子どもの就学状況は必ず把握する。
- ・町民向け外国語講座の拡大
- ・英語を話せるようにする
- ・6.7年前まで町内のスーパーでパートをしていました。片言の単語で相手が何を欲しているのか探るのが大変でしたが、自然に接する機会があると、それも新鮮な出来事かなと思う
- ・わからない
- ・進める為と言うなら（1）～（11）まで出来る事は全て実行してみたら良いのでは？
- ・子供達の教育の中で特に早期から取り入れてほしい
- ・英語（外国語）を地域の人が学びやすい環境（無料で学べる機会を増やす）※今のは少ない。行ける人が限られている
- ・日本語学校誘致
- ・移民の多い他国や国内の市町などの事例を検証参考にして、倶知安町でできることを住民が考える場を提供する
- ・日本文化を外国人にしっかり伝える

- ・技能のある人に「きちんと充分以上の報酬を払い」両者間の橋渡しをしてもらうこと
- ・ひらふ地域だけでなく町内全体で外国籍の人たちと交流できる環境づくり、インバウンドの人たちを取り込むときにも、在住外国人の情報は、観光する地域を決定する際にも大きなファクターになると思う
- ・うちでは商売してるのでカミさん外国人来て楽しんで居るようです